

◆ 小林 貴子 選

噴水の中に居^い坐^{すわ}る我が子かな

(羽曳野市) 菊川 善博

アサギマダラと長旅の話など

(春日部市) 村田 菊子

五十年無口な人とゐて涼し

(茅ヶ崎市) 清水 吞舟

怨念はクライマックス夏芝居

(東海市) 斉藤 浩美

どうするどうする飛石^{とびいし}の大蜥蜴^{おおとがひ}

(茨城県阿見町) 鬼形のふゆき

フルーティーフルーティーとて冷酒なり

(朝倉市) 深町 明

午後からはゆっくり休む海の家

(玉野市) 加門 美昭

立秋と聞けば氣力^{きりからえ}の蘇^{よみがえ}り

(伊丹市) 保理江順子

我が問い我が答えて夏逝^{はな}かす

(東京都板橋区) 二町 睦子

国という危うき器敗戦忌

(狭山市) 朝日 和信

【評】一句目、酷暑の報道でこういう動画が映る。涼しさを堪能する子が気分良さそう。二句目、渡りをする蝶^{ちやう}とじっくり話をしてみたい。三句目、五十年の来し方を一言で振り返っている。四句目、芝居の主題として重要なのはやはり怨念だ。

◆ 長谷 川 耀 選

文明の壊^{こわ}るる静寂^{しじま}メロン熟^{じやく}る

(神戸市) 山口 誠

秀長の治めた町を金魚売り

(奈良県斑鳩町) 森口 恭子

漱石^{すいせき}なら頗^{すこ}る暑いと言ふだらう

(綾瀬市) 小室 安弘

寂れゆく商店街を蟻^{あみ}の列

(福島県塙町) 安部みさ子

百合の根を掘つて遊んだ疎開の日

(盛岡市) 守屋 光雅

白南風^{しろなま}や死ぬならこんな風の中

(埼玉県鳩山町) 大川 典巨

水泳も仕事のひとつ消防士

(大阪市) 原 信次

日本が負けた日に似た残暑かな

(東京都大島町) 大村 森美

焼きそばの匂ひに並ぶ夜店かな

(青森市) 小山内豊彦

☆アンドロイド果たして上手く踊りけり

(川越市) 渡邊 隆

【評】一席。徐々に壊れてゆく文明。メロンが熟するように。二席。豊臣秀長が治めた大和郡山。金魚の産地でもある。三席。ちょっと格好つけた「頗る」。文豪の口調をまねる。十句目。おもしろがっているうちが花。そのうちに踊らされる。